

平成28年度 京都市立境谷小学校 教育全体構想

学校運営協議会との協力・協働＜コミュニティスクールの確立＞

家庭・地域とともに育む
確かな学力、豊かな心、健やかな体

一人一人の子どもを
徹底的に大切にする教育の推進

地域ぐるみの教育の推進

- ①自ら学び、考え、課題を解決する力の育成
- ②多様な学びの機会を設け、児童の学習意欲を高めるとともに課外学習及び家庭学習を推進
- ③規範意識を身につけ、互いのよさを認め合い、人との関わりや地域・社会との関わりを考え、行動する力の育成
- ④健康や安全について考え、行動する力の育成
- ⑤生涯にわたって、学んだ知識や技能等を生活の場や自己の生き方に生かす力の育成

京都市立境谷小学校
学 校 教 育 目 標

ともに楽しく学び 未来を創る境谷の子

めざす子ども像

- す す ん で 学 び , よ く 考 え る 子
- 思 い や り の 心 を も ち , 協 力 す る 子
- 心 も 身 体 も 健 や か で た く ま し い 子

- 【信頼される学校づくり】
- ①学級・学年・学校だよりやホームページの活用
 - ②あらゆる機会の参観
 - ③外部評価を含む学校評価の充実と公表
 - ④「学校運営協議会」（コミュニティスクール）との協働による有機的活動
 - ◆子どもを育む「喜びと責任」を分かち合う

「笑顔・あいさつ」のあふれる学校に

～ 楽しく規律のある学校 ～

◎学力向上、自己学習力の育成

- 基礎・基本的な知識や技能が確実に定着し、意欲を持って学び続ける子
- 問題をしっかりと把握し、習得した知識・技能を活用して解決に努める子
- 自らよく考え、判断し、自分の思いや考えをしっかりと表現できる子

◎人権尊重、福祉ボランティア精神の育成

- 人の立場に立って考え、だれとでも仲よくできる子ども
- 人のためにつくし、助け合える子ども
- 自分を含めて、人や他の生き物の生命を大切にする子ども

◎健全な心身の育成

- 心身共にたくましく、困難に打ち勝つ子ども
- 自ら鍛え、健康管理がしっかりとできる子ども
- 基本的な生活習慣が身についている子ども

学 校 力 の 向 上

授業力・学級経営力・職務の遂行力

組織力

地域力

親力

- ☆ 学習指導の充実
- ☆ 生徒指導の充実
- ☆ 健康教育の充実・食育の取組の推進
- ☆ 男女平等教育の充実
- ☆ 総合育成支援教育の充実
- ☆ 同和教育の充実
- ☆ 外国人教育の充実
- ☆ 福祉・ボランティア教育の充実
- ☆ 心をたがやす教育の充実
- ☆ 国際理解教育及び外国語活動の充実
- ☆ 家庭・地域や産業界等との連携による体験的な学習活動の推進
- ☆ 情報教育の充実
- ☆ 課外活動（部活動・土曜学習）の充実
- ☆ 教育環境の整備・充実

「コミュニティスクール」としての特色ある学校づくり

- ☆ 確かな学力をつける
課外学習の時間を設定し、さらなる基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図るとともに、個に対応じた指導の充実、体験的・問題解決的な学習を重視したわかる授業を実践する。また、特に課外学習の中で、個別課題を明確にした実践と共に家庭学習の充実に努める。
- ☆ 基礎学力の確実な定着とコミュニケーション能力の育成
これまで重点的に取り組んできた「豊かなコミュニケーション能力」を高める実践の充実・発展を基盤に据え、算数科・国語科を中心とした基礎・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
- ☆ 学校・地域の実態を踏まえた環境教育の充実
地域の教育資源を生かし、自然とのふれあいを大切にした学習の充実に努める。
- ☆ 子どもたちの発表・表現の場づくり
各教科の学習成果のレポート・新聞・絵等の作品を展示する場を整備し、互いに認め合える環境を作る。また、「学習発表会」で感動体験や全校合唱等を保護者・地域に発信し、児童の表現力育成の充実に努める。
- ☆ 心と体の健康の充実・食育の取組の推進
しなやかな道徳教育の充実。健康教育の充実。日本料理に学ぶ食育の推進
- ☆ 地域に根ざした校種間連携（幼・保・小・中・高・大）の推進
小中一貫教育を充実するとともに心豊かな創造性のある校種間連携を推進する。（特にさかいだに幼稚園・京都府立桂高校・京都市立芸術大学との連携）
- ☆ 心と体を鍛える部活動の充実
部活動を通したより豊かな教育活動を、学校・地域指導者の協力や連携を図る。
- ☆ 安心・安全な学校づくり
子ども見守り隊を中心とする学校・保護者・地域一体の防犯活動の推進
個人情報等の保護対策を中心とした情報セキュリティポリシーの推進。

- 教職員一人一人が個性と能力を発揮し、教育公務員としての責任を自覚し、主体的・積極的に学校教育活動を推進する。
- 保護者の信託にこたえられるよう、全校体制で、一人一人の子どもを大切に
する学校教育活動を推進する。

- 「わかる・楽しい授業」を展開し、子ども一人一人の学力の向上を図る
 - ・基礎的、基本的な内容の確実な定着
 - ・ICT等を効果的に活用した「わかる・楽しい授業」の展開
 - ・習熟度別指導やT・T指導等、個に対応した授業の構築
 - ・交換授業・合同授業・専科等、教師の特性を生かした授業の構築
 - ・コミュニケーション能力を高める授業の展開
 - ・「目標と指導・評価の一体化」の充実に努め、授業改善
 - ・個別課題を明らかにした課外学習の充実
- 人権尊重を基盤とした学級経営
 - ・認め合い、励ましあう望ましい学級集団、仲間づくり
 - ・人権尊重の心を培う指導の充実
 - ・人権に対する認識を育てる指導
- 学習・生活の基盤となる力の確立
 - ・健康的な生活、基本的生活習慣の確立
 - ・保護者との連携

学年・学級経営
基本計画案の作成
◇学年目標

定期的な検証を行い
学年・学級経営力を高める

- 校内研究の充実
（日々の授業改善、よりよい授業をめざす取組）
- 校内研修の充実
（人権教育・情報教育・健康教育・若手教員研修等）
- 組織的な協力体制づくり
（習熟度別指導、T・T指導、少人数指導、交換授業、合同授業、専科等）
- 全校集会活動・縦割り集団活動・児童会活動の充実
- 学校評価
（保護者や地域の「外部評価」を受け入れ、教育活動の改善・充実に努める。また、授業参観や懇談会の内容を積極的に発信し、適時性のある評価を求める。）（自己評価を行う中で具体的な成果と課題を明らかにし、さらなる教育活動の充実を図るとともに、保護者・地域へも発信する。）
- 学校運営協議会を核とした、保護者・地域との連携
（家庭訪問、授業参観・懇談会、自由参観日、学校だより、学年だより、学級だより）